



厚生労働省・都道府県  
健康（広域）麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止センター

## だい しょう いほうやくぶつ きけん 第11章 違法薬物、危険ドラッグについて

まやく かくせいざいらんようぼうしうんどう いっぱんけいはつよう  
「麻薬・覚醒剤乱用防止運動パンフレット（一般啓発用）」（2021年）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000835000.pdf>

- やくぶつらんよう  
1. 薬物乱用とは  
やくぶつらんよう しんしん えいきょう  
薬物乱用による心身の影響
  - たいま ぜったい しょう  
2. 大麻は絶対に使用しない！  
たいまらんよう しんしん えいきょう  
大麻乱用による心身の影響
  - きけん ぜったい しょう  
3. 危険ドラッグは絶対に使用しない！
  - さそ  
4. 誘われたらどうする？
  - やくぶつらんよう ほうりつ しょぼつ  
5. 薬物乱用は法律で処罰される
  - やくぶつらんよう ほうし  
6. 薬物乱用を防止するために
- そうだんまどぐちいちらんひょう  
相談窓口一覧表

覚醒剤や麻薬、大麻、危険ドラッグなどの薬物の乱用は、あなたの健康やあなたの周りの人々に計り知れない悪影響をもたらします。たとえ1回だけでも「乱用」です。絶対に使わないでください。薬物の乱用は大切な脳を傷つけます。私たちの脳は、20歳頃まで成長するといわれています。特に、小学生、中学生、高校生の時期は、心身ともに急速に発達するときです。この時期に薬物を乱用すると、脳や身体の成長がストップし、感情のコントロールができず、意欲がなくなる、怒りっぽくなるなど、心身の発達が損なわれてしまいます。そして薬物依存になると、不安、被害妄想などの症状が現れ、幻覚や妄想によって、傷害事件や交通事故などを引き起こすこともあります。薬物を入手するために、無理な借金をしたり、窃盗、詐欺、売春などの犯罪を犯すことも少なくありません。

### 薬物乱用の背景

薬物乱用者の多くは、ほんのちょっとした好奇心から安易に使い始め、抜け出せなくなります。この背景として、次のようなことがあります。薬物が身体に与える危険性・有害性を十分に知らない。薬物は精神依存性が強く、薬物依存になると自分の意志ではやめられなくなってしまふ。薬物の取引による利益を資金源としている暴力団や外国人密売組織などが言葉たくみに勧め、大量に供給している。薬物乱用とは、ルールや法律から外れた目的や方法で使用するのことをいいます。覚醒剤や麻薬などは1回使用しただけでも乱用にあたります。



● LSD



● 危険ドラッグ



● 向精神薬



● 有機溶剤 (シンナーなど)



● 覚醒剤



● 大麻(マリファナ)



● コカイン



● MDMA

### 乱用される主な薬物

# なぜ、薬物乱用はいけないのか。

## 1. 身体にも心にも大きな悪影響がある

### 覚醒剤の場合

幻覚・妄想  
フラッシュバック  
を起こす。  
血圧が異常に高くなる。  
静脈に炎症を起こす。  
強い疲労感や倦怠感、  
脱力感におそわれる。  
依存性が強い。

### シンナーの場合

記憶力低下、認知障害  
急性中毒・事故  
精神障害・有機溶剤精神病  
(幻覚、妄想)  
重篤な依存症  
視力の低下・失明  
歯がぼろぼろになる  
肝臓・腎臓の障害  
生殖器の萎縮  
手足のふるえ、しびれ、  
麻痺

### コカインの場合

脈拍・心拍の増加  
血圧の上昇  
瞳孔の拡大  
鼻の粘膜の炎症、腫瘍

### 大麻(マリファナ)の場合

知覚(聴覚・触覚)の変容、  
短期記憶の障害、  
運動失調と判断力の  
障害を起こす。  
心臓血管系、自律神経  
系へ悪影響を及ぼす。

### 危険ドラッグの場合

意識障害、嘔吐、けいれん、錯乱  
などが報告されており、死亡事例も  
あります。  
添加されている物質や含有量が様  
々であることから、どのような健  
康被害がおきるかわかりません。

### その他の害

薬物を注射で乱用する場合、各種の感  
染症(エイズ、肝炎など)の原因になり  
ます。大麻では精子の異常が、シン  
ナーやコカインでは先天異常などの  
報告があり、妊娠、出産にも悪い  
影響があります。

## 2. 自分の意志では止められなくなる

### 薬物乱用の最も恐ろしい特徴は、薬物の“依存性”と“耐性”

**依存性** 薬物を、繰り返し使わずにはいられなくなり、薬物をやめたくても自分の意志ではやめられなくなってしまう。

**耐性** 使用を繰り返しているうちに、それまでの量では効かなくなり、薬物の使用量が増える。

一回だけと思って始めた人も、薬物の“依存性”と“耐性”によって使用する量や回数がどんどん増えていき、どうしようもない悪循環に陥ります。もはやそうになると自分の意志だけでは止めることはできません。



## 3. 事件や事故の原因となる

- 薬物の乱用により、幻覚、妄想が現れ、傷害事件や交通事故につながる。
- 薬物を入手するための金欲しさに無理な借金や売春、恐喝事件、窃盗事件を起こすことも少なくない。



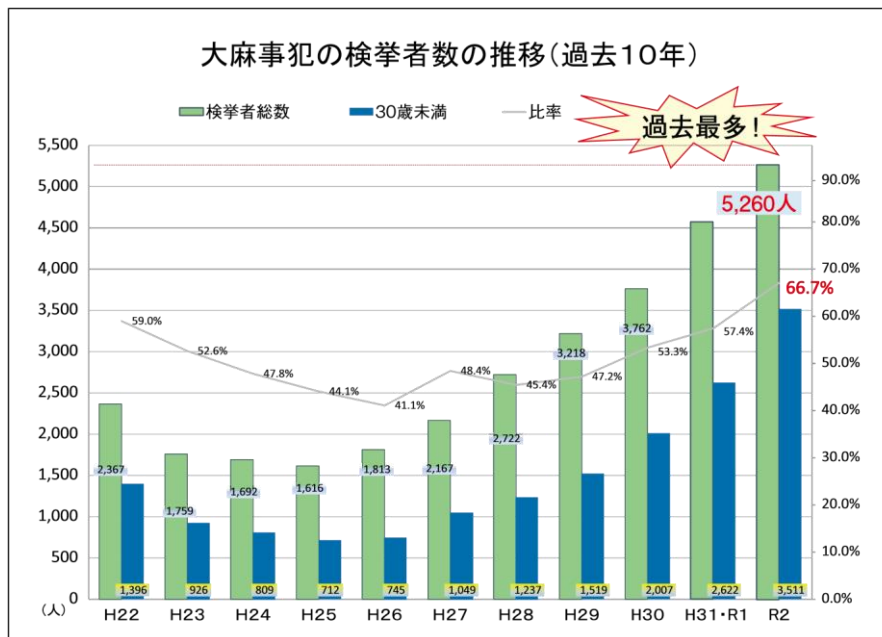
## 4. 友達や家族など大切な人を悲しませる

- 薬物におぼれ、何よりも薬物を優先するようになると、友達や家族を騙したり、暴言や暴力で傷つけてしまうこともある。



## 大麻（マリファナ）は絶対に使用しない！！

- 令和2年には、過去最多となる5,260人が検挙され、そのうち半数以上にあたる3,511人が青少年であり、青少年を中心に大麻の乱用の裾野が拡大しています。
- インターネット等において、「有害性がない」などの誤った情報が氾濫しており、青少年の大麻乱用の拡大につながっていると推測されます。
- 最近では幻覚成分を濃縮させた「大麻ワックス」や大麻を含んだ食品（クッキー、チョコレート）などの摘発も相次いでいます。



(大麻ワックス)



(大麻クッキー)

## 大麻（マリファナ）のこと甘く見てはいませんか

法務省が発表した全国の覚醒剤取締法違反による受刑者を対象者とした調査によると、対象者が最初に乱用した薬物を、調査した時の年齢層別にみた結果、30歳以上では年齢層が上がるにつれて覚醒剤が増えている一方、30歳未満の者では大麻の割合が最も多くなっているという結果でした。

軽い気持ちで大麻に手を出したら覚醒剤等の薬物にまで手を出していた、ということにもなりかねません。間違った情報に惑わされて軽い気持ちで大麻に手を出すのは危険です！

出典：令和2年版犯罪白書－薬物犯罪－（法務総合研究所）をもとに作成

## 大麻（マリファナ）の乱用による身体への影響

発達段階にある青少年の脳は、成人の脳に比べて大麻の影響を受けやすい！

- 大麻の乱用は、青少年期に構築される脳・神経系の正常な発達及び成熟に障害を起こす可能性が強く示唆されています。
- 大麻の花や葉に含まれる THC（テトラヒドロカンナビノール）が脳神経のネットワークを切断し、やる気の低下、幻覚作用、記憶への影響、学習する力の低下、知覚の変化などを引き起こします。

### 関連情報

- 大麻を乱用すると、**脳の知的機能や記憶の形成を司る部位（海馬等）が縮む。**
- 2016年のWHO薬物依存専門委員会の大麻に関する会議において、THCは薬物依存の精神依存評価法を用いた基礎研究において陽性を示し、また身体依存を形成することを示す複数の論文も紹介された。

大麻の花や葉に含まれる THC には**精神依存、身体依存がある！**

■大麻に関する誤った情報に注意してください！！「大麻は安全、無害だ！タバコや酒より安全！世界で大麻は合法！大麻、マリファナ、ヘンプは違うもの！

海外の状況；2012年、21歳以上の成人に大麻を解禁したコロラド州では、解禁後、大麻摂取による救急搬送事例が著しく増加した。また、未成年の検挙数、重大な交通事故、大麻関連の犯罪組織も増加し、社会環境の悪化が懸念されている

## SNS での薬物の誘いに注意！

近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのが SNS です。SNS 上では大麻などを意味する隠語などを使って購入を促す内容が多く投稿されています。実際に未成年の学生が SNS を通して売人から大麻を購入した事件が複数報告されており、大きな問題となっています。SNS を通して薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。そのような投稿を見つけても誘いに乗らないようにしましょう。

日本で最も多く乱用される薬物です。また、覚醒剤事犯は コカインは神経を興奮させる作用があり、幻覚などが現れ再犯率が 6 割以上と非常に高くなっています。精神異存が強 ます。大量に摂取すると高体温になり、いずれも死に至るこい覚醒剤は最初の 1 回を使わないことが何よりも大切です。近年、麻薬の押収量は急増しており、注意が必要な状況です。

### 危険ドラッグ



### 医薬品



「ハーブ」「アルマリキッド」などのうたい文句で販売されて 医師から処方された薬や市販薬は、用法・用量を守って正しい薬物です。2014 年の法改正によって「指定薬物」に指 く使用しないと副作用のリスクが高まります。さらに、こう定され、規制が強化されました。今は潜在化してインターネット した薬を他人に譲ることは大変危険です。また、海外のイト等で販売されています。引き続き注意が必要です！

インターネットサイトで販売されている薬も偽造品などのリスクが高いので、軽はずみな購入は危険なので避けましょう。

あなたとあなたの大切な人を守るために。

**薬物乱用の問題は、一部の人たちだけの問題ではありません。**

これまでに何らかの薬物を経験した人は、少なくともおよそ 200 万人以上いる可能性があります。また、20 代の約 4 人にひとり、10 代の約 6 人にひとりが、薬物の入手可能性について「なんとか手に入る」「簡単に手に入る」と回答しています。

出典：令和元年度厚生労働科学研究「薬物使用に関する全国住民調査（2019年）」より

## 誘いの言葉にだまされない

- 「1 回だけなら大丈夫」「やせられるよ」「みんなやってるよ」などの甘い誘いは、全部ウソです。
- 問題がある薬物を勧めてくること自体に違和感を持ち、危険を察知する判断力を身につけることが大切です。

## 「はっきり、きっぱり」断る

- 誘われたとき、少しでも迷っている様子を見せてしまうと、また誘われてしまいます。誘われたときは、「きっぱり」強い態度で断ることが大切です。
- 断りにくいときは、その場から逃げましょう。逃げることも勇気です。

悩んだときは、まず相談！

覚醒剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物乱用に関わる問題で困ったときは、一人で悩まずに相談してください。

相談窓口では、相談に関する秘密は絶対に守ります。安心して相談できますので、全国の保健所や精神保健福祉センターなどにお問



い合わせください。薬物乱用の問題の解決には、大人の力が必要です。早めに、信頼できる大人に相談しましょう。

## 薬物の乱用は、法律で厳しく処罰されます。

以下は乱用とその周辺行為に関する主な罰則です。営利を目的とする販売などは、さらに厳しい罰則規定があります。手伝っただけでも犯罪の共犯やほう助にあたり処罰の対象になります。海外での所持なども国外犯規定が適用され処罰の対象となります。

### 覚醒剤

輸入・製造…1年以上の有期懲役

所持・譲渡・譲受・使用…10年以下の懲役

### 大麻

輸入・輸出・栽培…7年以下の懲役

所持・譲渡・譲受…5年以下の懲役

大麻の不正栽培は、法律で禁止されています。また、そのために大麻の種子を所持したり、提供したりすることは、処罰対象となります。

### コカイン

輸入・製造…1年以上10年以下の懲役

所持・譲渡・譲受・使用…

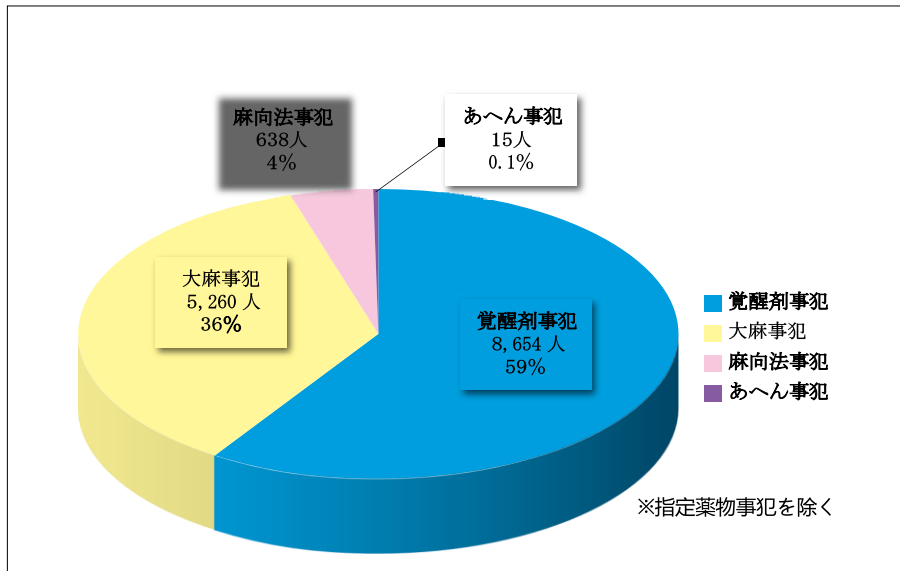
### 7年以下の懲役指定薬物

---

製造、輸入、販売・授与、販売・授与の目的での  
貯蔵・陳列

5年以下の懲役、もしくは500万円以下の罰金またはこれを併科  
所持、使用、購入、譲受

3年以下の懲役、もしくは300万円以下の罰金またはこれを併科



## 初めて大麻を使用した動機 (対象者 631人：複数)

初回使用年齢層別	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	全体
好奇心・興味本位	64.0%	54.3%	57.8%	21.4%	58.8%
その場の雰囲気	21.3%	19.5%	13.3%	7.1%	20.0%
クラブ・音楽イベントの高揚感	4.4%	6.0%	4.4%	14.3%	5.2%
パーティ感覚	1.1%	2.6%	2.2%	0.0%	1.8%
ストレス発散・現実逃避	2.8%	8.1%	8.9%	35.7%	5.9%
多幸感・陶酔効果を求めて	3.7%	7.0%	8.9%	14.3%	5.5%
その他	2.8%	2.6%	4.4%	7.1%	2.8%

出典：警察庁「令和元年における組織犯罪の情勢」より

# なぜ、薬物乱用に走るのか。 甘い誘いに気を付けよう!

## 薬物乱用の甘い誘い

- 1回だけなら平気さ
- ちょっとだけ、ためし  
てみない
- クスリでちょっと遊ぼうよ
- みんなやってるよ  
(やってないのはきみだけ)
- 面白いクスリがあるんだけど
- やせられるよ
- 肌の栄養剤だよ
- イライラがとれてすっきり  
するよ
- 最高の気分が味わえるよ
- 肌がきれいになるよ
- とりあえず、預かってよ
- 「人生は経験だ」
- お金はこの次で  
いいよ
- 眠気がとれて、勉強ができるよ



## 「ダメ。ゼツタイ。」と 断る勇気を持とう。

## 薬物乱用を防止するために!!

- 薬物乱用の危険性は身近にあり、自分には関係ないと思わないこと。
- 誘われても「ダメ。ゼツタイ。」と断る勇気を持つこと。
- 一人で悩まないで友人や家族に何でも相談すること。

薬物乱用問題についてさらに詳しくは厚生労働省ホームページをご参照ください。「薬物乱用防止に関する情報のページ」 <https://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/index.html> QRコードで携帯電話でもご覧いただけます。



## あやしいヤクブツ連絡ネット

指定薬物を含む危険ドラッグ等に関連する健康被害事例等の収集、分析、評価を行い、公表、注意喚起を行っています。また、コールセンターで相談対応を行い、一元的に危険性等の情報にアクセスできます。

薬物の乱用でお困りのことがあれば

<https://www.yakubutsu.mhlw.go.jp>

コールセンター 03-5542-1865



● 薬物乱用防止相談窓口機関一覧表

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/madoguchi.html>